

令和2年度 藤沢総合高等学校 不祥事ゼロプログラム検証等

項目	目標	行動計画
法令遵守意識の向上	常に公務員の自覚をもち、信用失墜行動を未然に防止する。	教職員の不祥事に関する新聞記事を回覧・掲示するなどして公務外非行防止の意識啓発を行った。職員同士お互いに声を掛け合って円滑なコミュニケーションを図り、風通しのよい職場づくりに努めた。
職場のハラスメント(パワハラ・セクハラ・マタハラ等)の行為防止	人権意識を高めパワハラ・セクハラ・マタハラ行為を未然に防止する。	パワハラ・セクハラ・マタハラ等の行為に関する新聞記事や啓発資料を活用して情報を共有するとともに、コロナ禍における生徒の諸課題等の人権研修会を実施した。パワハラ・セクハラ・マタハラ等の行為の加害者にならないようセルフチェックを実施し、意識啓発を行った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	セクハラ・わいせつ行為の加害者にならないよう、セクハラ防止セルフチェックを全職員で実施し、意識啓発を行った。セクハラ・わいせつ行為に関する新聞記事や啓発資料を活用して情報を共有するとともに、月例で事故不祥事防止会議を開催した。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導を未然に防止する。	新聞記事や啓発資料などを活用して、体罰事案などの具体例を提示するとともに、研修会を実施して適切な指導を行った。校内での人権に関しては、生徒への周知を図り、生徒が相談しやすい態勢づくりを目指し、研修会を開催した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜業務、成績処理、調査書発行等のミスを未然に防止する。	成績処理、調査書・進路関係書類発行にあたっては、マニュアルに沿って業務を行ない、確認・点検を徹底することができた。入力・点検時には、必ず複数で点検・確認するようにした。入学者選抜制度についての校内研修会を行い、教職員への周知を図ることができた。職員啓発資料を活用して、入学者選抜に係るこれまでの事故不祥事の事例などを周知し、意識啓発を行い、事故不祥事の発生を未然に防ぐことができた。事故不祥事の未然防止に向け取り組むことができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に取り扱い、情報の流出を未然に防止する。	個人情報の取扱いに関する啓発資料やチェックシートを職員に配付し、意識啓発を図るとともに、研修会を実施して個人情報の流出を未然に防止することができた。個人情報を持ち出す際の「個人情報持ち出し許可願」による申請など、手続きの徹底を図った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法規遵守を徹底し交通事故、飲酒運転を未然に防止する。	新聞記事や職員啓発資料などを活用して、朝の打ち合わせや職員会議で交通事故・飲酒運転防止について意識啓発を図った。飲酒を伴う会合がある場合は、翌日への影響も含めて、自家用車、自動二輪車（自転車を含め）の使用を控えることを徹底した。
業務執行体制の確保等	不適正な業務執行を未然に防止する。	日ごろから情報を共有し、気になることはそのままにせず、声をかけ合い、協力して業務を遂行した。6グループ間での業務内容を相互に共有することで、職員同士が協力しながら業務を執行することができた。

○令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

日頃から事故を絶対に起こさない職場体制とするため、月例で定期的に職員全体に注意喚起を行ってきた。こうした取組みをとおして、事故不祥事防止に関する職員の意識を徹底できたと考えている。

今後も、本年度の取組みを継続し、より具体的な事故不祥事防止に係る行動を実践し、事故不祥事防止への問題意識が職員全体にさらに徹底される内容となるよう工夫していく。